

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 20 年 5 月 14 日(水)	開催時刻	9 時 35 分から 12 時 20 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 20 年度第 2 回)		
出席者	委員 20 名(欠席者なし)		
会議次第			
1 開 会 (古川まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ (田中明会長) 本日より城南地域に関して本格的な議論を進めるわけであるが、地域の住民の幸福のために頑張っていきたいと思う。2 年間よろしく願いたい。			
3 会議事項			
(1) 公共交通活性化プランについて (担当課：都市建設部 地域交通政策課)			
【報告要旨】			
「長野県上田地域における公共交通活性化プラン」(別添資料)			
・市内バスの運行状況			
・公共交通整備の基本サービスレベル			
・公共交通体系再構築実施プログラム			
【主な質疑・回答】			
委員：利用率の低い廃止路線代替バスについては、廃止若しくは減便の検討も必要ではないか。			
事務局：策定検討会では、利便性の向上を第一に様々な角度から検討を重ねてきた。利便性の向上を図るとともに、利用率を高めていく必要があるが、今後取り組んでいく中で、利用率が向上しないといった場合には、地域の皆様のご意見をお聞きしながら、将来的には減便あるいは廃止も検討していかなければならないと考えている。			
委員：電車については、時刻表の変更があるとダイヤ改正表が新聞の折込に入っていたりするが、バスの時刻表は配られることがなく不便である。時刻表を市民へお知らせすることも、バスの利用促進につながっていくものと考えているか。			
事務局：上田駅と大屋駅に案内板、路線図を作ると同時に、紙ベースで市内を運行する全社の路線図、時刻表を利用者へ配布できるよう進めてまいりたい。			
委員：路線の改正が、中心市街地の回遊性を高める交通対策につながっていくのか。			
事務局：循環バスについては、8 の字運行を検討しているが、回遊性も考えた上で			

の今回のプランです。その他に観光客の方々の利用も念頭に入れております。

委員：今後建設されるアリオが循環バスの運行を行った場合、既存の商業者に多大な影響がある。行政が利便性だけを重んじてしまうと、問題が出てくると思う。その辺りは検討しているのか。

事務局：現在イオンが左岸コースと右岸コースのバスを運行しているが、アリオも企業として上田駅からの運行を検討することになると思う。アリオだけで考えた形のもので良いのか、それともイオンと一緒に中心市街地を回るような小型循環のイメージのものが今後検討されてくるのではないかと考えている。

(2) わがまち魅力アップ応援事業について（担当課：政策企画局 まちづくり協働課）

【説明要旨】

- ・わがまち魅力アップ応援事業について（制度、補助対象経費、申込から申請までの流れ）
- ・選考要領について
- ・審査基準について

【主な質疑・応答】

委員：事業を開始してから補助金が交付されるまでの事業費は、団体が一旦立て替えることになるのか。

事務局：補助金の交付決定があった時点で、概算払請求をしていただきますと、事業費の80%までは事前にお渡しすることができます。

委員：5年以上の継続性が認められない事業は補助対象外とあるが、例えば植樹などは、植えてしまえば終わってしまうがどうか。

事務局：植樹をすることは補助対象になります。プレゼンテーションの中で植樹の後、自治会あるいは団体が継続して何を企画しているのかしっかりと確認いただければと考えております。

委員：例えばこれまで別々に開催してきた祭りを同時に開催して、地域として盛り上げていくといった場合は、補助金の対象となるか。

事務局：それぞれ開催してきたお祭りを一つのお祭りとして開催し、さらに地域振興を図っていこうという場合は対象となります。ただ、ふるさとづくり事業については一地区一価値ということであるので、地区等の同意を得ていただき登録していただく必要があります。

委員：継続性についてだが、隔年で開催する場合も対象となるか。

事務局：隔年でも継続性が認められれば、対象といたします。

委員：プレゼンテーションを受ける協議会の委員のメンバーは全員か。

事務局：全委員が申請団体からプレゼンテーションを受ける形となります。

委員：地域を限定せず実施する事業については、どこが審査を行うのか。

事務局：地域協議会の正副会長会において審査いたします。

(3) 第一期提出意見書、回答書の詳細について

本件については、次回の会議で検討することとする。

4 その他

次回会議開催について

平成 20 年 6 月 23 日（金）9 時 30 分 開催予定

閉会